

令和7年度 高齢者のための
各種助成制度について

- (1)家族介護用品購入助成事業
- 肉紙おむつなどの介護用品を購入する際に利用できる金券を交付
- 課税世帯11000円券×36枚(3万6000円分)
- 非課税世帯11000円券×75枚(7万5000円分)
- ※要介護者および介護者(申請者)の同一世帯全員の課税状況により利用券の額が決まります。
- 本市に住民票があり、1年以上上居住していて、「寝たきり」または「重度認知症」の状態が3カ月以上続いていることに加え、次の①〜③のいずれかの要件に該当する65歳以上の要介護者、または①の要件に該当する40歳以上65歳未満の要介護者を在宅で介護している方(申請日直近180日のうち90日以上在宅で介護している方)
- ①要介護・要支援認定を受けている方
- ②身体障害者手帳1、2級の方
- ③療育手帳Aの方
- ※特別障害者手当、福祉手当の受給者は対象外

(2)ねたきり老人介護手当支給事業

肉に対して、1回の申請で6万円を支給(申請は8月と2月の年2回)

肉 次の①〜③の全ての要件を満たす方

①65歳以上の要介護4、5の高齢者を、在宅で起居を共にしながら、基準日(8月1日と2月1日)から過去6カ月間に3カ月以上通算して介護している介護者

②介護者、要介護高齢者の属する世帯の世帯員全員が市民税所得割が課されていないこと

③介護者、要介護者共に本市に住民票があり、1年以上上居住している方

※特別障害者手当、福祉手当の受給者は対象外

(3)緊急通報体制整備事業

肉 緊急時にボタンを押すと、市が指定する通報先へ通報する装置の貸し出し

肉 65歳以上の一人暮らしで虚弱な高齢者

(4)生活指導型ショートステイ事業

肉 養護老人ホームなどに一時的に入所宿泊していただき、生活習慣などの指導および体調調整を行う

肉 在宅での自立した生活に不安のある要介護、要支援認定を受ける

けていない高齢者

料 1日381円の自己負担と食事代などの実費負担金

(5)高齢者日常生活用具給付等事業

肉 次の品目の購入費の補助

①火災警報器、自動消火器

②電磁調理器

肉 心身機能低下で防火などの配慮が必要な一人暮らしの高齢者

※①の火災警報器と②の重複申請はできません。

※市民税の所得割額に応じて自己負担があります。

(6)高齢者訪問給食サービス事業

肉 肉に対して、給食の配達を通して安否確認などを行う(週5日以上利用し、昼と夕食の2食以内で配食)

肉 次の①〜③のいずれかの要件を満たす方

①食事の確保が困難である一人暮らしの高齢者

②世帯全員が要介護認定を受けた高齢者のみの世帯

③要介護3〜5の認定を受けた高齢者がいる高齢者のみの世帯

料 1食あたり自己負担500円

(7)高齢者はり、きゆう、マッサージ等施術料助成事業

肉 受診券(1回800円)の交付

肉 本市に住民登録があり、1年以上上居住している満65歳以上の方

準 本人の身分証明書

※代理申請の場合は、本人および代理人の身分証明書

(8)介護予防元気度アップ事業

肉 令和6年度中に貯めたポイント数による利用券(最大5000円分)および令和7年度元気度アップカードの交付

肉 元気度アップ・ポイント転換利用券11令和6年度の元気度アップカードをお持ちの方かつ本市に住民登録がある方

※代理申請の場合は、本人および代理人の身分証明書

※申請には身分証明書(マイナンバーカードなど)の提示が必要です。

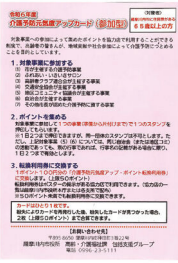
※詳しくは肉へお問い合わせください。

問 本庁高齢・介護福祉課

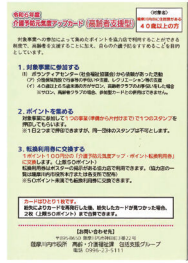
肉 (1)〜(7) 高齢者福祉G

肉 (8) 包括支援G

令和6年度 介護予防元気度アップカード



▲参加型(桃色)



▲高齢者支援型(緑色)

▼元気度アップカード(高齢者支援型)の交付1140歳以上の方

▼元気度アップカード(参加型)の交付1165歳以上の方

方 元気度アップ・ポイント転換利用券11令和6年度元気度アップカードを本庁高齢・介護福祉課または各支所、鶴島振興局、各市民サービスセンターへ申し込みが必要です。



▲介護予防元気度アップ事業



▲高齢者福祉

ビスセンターへ持参

▼元気度アップカード11本庁高齢・介護福祉課または各支所、鶴島振興局、各市民サービスセンター、中央公民館、各地区コミュニティセンター、総合福祉会館で取得

※高齢者支援型は、本庁高齢・介護福祉課または、各支所、鶴島振興局、各市民サービスセンターへ申し込みが必要です。

小型充電式電池の処分方法

携帯電話などの小型家電に内蔵されているリチウムイオン電池は、破損や変形により発熱、発火する恐れがあります。収集、運搬、処分の過程で、これが原因とみられる火災が国内で頻発しています。小型充電式電池やこれを使用した製品を処分する際は、ご注意ください。

電池には貴重な資源が含まれていますので、リサイクルにご協力ください。



リチウムイオン電池



ニカド電池



ニッケル水素電池

処分方法

- ▶リサイクルマークがあるもの=電気店などのリサイクル協力店に出す
- ▶燃やせないゴミに出す場合=小型家電から電池を取り出して+極と-極の金属端子部にテープを貼り、絶縁して出す

※リサイクル協力店について詳しくは、市肉をご確認いただくか、肉にお問い合わせください。

問 本庁環境課廃棄物政策G (肉 4341、4343)



▲市肉

川内保健センターからのお知らせ

事業	時
母子健康手帳交付	毎週火曜日(祝日を除く) 9:00~9:20 受付
健康相談(成人・母子) ※要予約	毎週火曜日(祝日を除く) 10:00~11:30

※川内地域以外の母子健康手帳交付および健康相談(成人・母子)については、随時実施しますので樋脇・入来・東郷・祁答院地域は川内保健センターへ、鶴島区域は鶴島振興局へご連絡ください。

※臨床心理士によるこころの健康相談の日程については、問い合わせください。

問合先/市民健康課健康増進第1・第2G(川内保健センター内) 肉(22)8811 鶴島振興局

今日からできる SDGsチャレンジ!

~ 2030年の SDGs 達成に向けて~

「SDGs」の達成年である2030年まで残り5年。「SDGs 未来都市」として、「薩摩川内 SDGs チャレンジ」を合言葉に、より一層SDGsに取り組んでいきましょう。

【問題】「実現したい未来」をイメージし、それを実現するためにどのように行動すべきかを逆算しながら考える「バックキャストリング」という考え方は、次のうちどちらでしょうか。

- ①日本の食品ロスの量は、年間472万トンもあるため、訳あり商品を購入し、食品ロスの量を減らす。
- ②廃棄物を減らす社会の実現のために、資源循環サービスPASSTOを利用し、衣服の循環に取り組む。

※答えは、5月お知らせ版に掲載します。



▲PASSTO



▲薩摩川内 SDGs チャレンジ

【先月号の答え】 ②チャレンジ&チェンジ

令和6年度「薩摩川内 SDGs チャレンジシンポジウム」は、YouTubeチャンネル「薩摩川内 SDGs チャレンジ」でアーカイブ動画を公開しています。ぜひ、ご覧ください。

発行

薩摩川内市 肉895-8650 鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号

肉0996(23)5111 肉0996(20)5570

肉0996(22)8115(直通)

※音声案内後に内線番号を押してください。

閉庁日および時間外 肉0996(23)5115

編集

本庁未来政策部秘書広報課(肉4122、4123)

肉koho@city.satsumasendai.lg.jp

各支所など

樋脇支所	肉895-1292 樋脇町塔之原1173番地 肉0996(37)3111 肉0996(37)2252
入来支所	肉895-1492 入来町浦之名33番地 肉0996(44)3111 肉0996(44)3117
東郷支所	肉895-1106 東郷町斧刈362番地 肉0996(42)1111 肉0996(42)0767
祁答院支所	肉895-1595 祁答院町下手67番地 肉0996(55)1111 肉0996(55)1021
鶴島振興局	肉896-1201 上鶴町中鶴481番地1 肉0996(2)0001 肉0996(2)1490
里町サービスセンター	肉896-1192 里町里1922番地 肉0996(3)2311 肉0996(3)2912
鶴島サービスセンター	肉896-1392 鹿島町蘭牟田1457番地10 肉0996(4)2211 肉0996(4)2672
下鶴支所	肉896-1696 下鶴町手打819番地 肉0996(7)0311 肉0996(7)0753
消防局	肉895-0072 中郷町5031番地1 肉0996(22)0119 肉0996(20)3430
水道局	肉895-0074 原田町22番10号 肉0996(20)8500 肉0996(20)8512

広報電話

やくしよにコール

肉0120(894)256

※夜間救急当番医や水道サービスセンターの情報が電話で確認できます。